

令和8年 第2回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	小 西 雄 一	<p>1. 新たに生まれつつある果樹産業の今後を見据えた町の取り組みについて</p> <p>2. WEB 情報発信の一元化について</p> <p>3. ポケモンマンホールの導入の検討について</p>	<p>近年、八雲町において新たな農業分野として果樹栽培への取り組みが進められている。気候変動や農業経営の多様化、付加価値の高い農産物への期待などを背景に、果樹産業は今後の地域農業の新たな可能性として注目される場所である。</p> <p>一方で、果樹産業は栽培技術の確立や販路形成、担い手育成など、中長期的な視点に立った支援と地域全体での戦略的な取り組みが必要と考える。</p> <p>そこで、町として現在の果樹栽培の状況をどのように認識し、今後の地域産業としての可能性をどのように捉えているのか。また、技術支援や生産体制、ブランド化や販路拡大などを含め、将来的な果樹産業振興に向けた考えと取り組みについて伺う。</p> <p>情報発信の手段が多様化する中、行政情報のみならず、地域イベントや観光・物産、各種団体・民間事業者による公益性の高い情報についても、町内外へ効果的かつ分かりやすく発信していくことが重要となっている。</p> <p>現在、八雲町における情報発信は町ホームページや各種 SNS、関係団体等それぞれが個別に行っている状況にあるが、利用者にとっては情報が分散し、必要な情報へたどり着きにくい側面もあると考える。</p> <p>そこで、町政情報を中心としながら、観光・物産、地域イベント、民間を含めた公益性の高い情報について、八雲町ホームページ等を活用し、一つの WEB サイトまたは統一的な WEB プラットフォームから総合的に発信する仕組みを構築できないか、町の考えを伺う。</p> <p>八雲町として観光振興や地域ブランディングの観点から、各地で展開されている「ポケモンマンホール」（いわゆる、ポケふた）の設置について導入を検討しているのか伺う。</p>	町 長
				町 長
				町 長

令和8年 第2回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	横 田 喜 世 志	1. 部活動支援について	<p>福島県の磐越自動車道で練習試合に向かっていたマイクロバスの事故を受けて、北海道教育委員会の実態調査発表では3割の76校でレンタカーを使い、教員が送迎を行っていて、私立校も26校で行われていた。</p> <p>2009年7月に「公共交通機関または貸切バスやタクシーという営業自動車を使い、やむを得ない場合は学校長の許可を得て自家用車を使ってよい」としているが、実際には困難であろうと思う。</p> <p>現実的には部費で旅費・交通費を賄うことは困難で、教員や父兄の好意により試合・練習等に参加しているのが実態であろうと思う。</p> <p>これを受け、町として何らかの手だてが出来ないか考えを伺う。</p>	町 長 教 育 長

令和8年 第2回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	三 澤 公 雄	<p>1. 新庁舎設計について</p> <p>2. 部活動の移動手段について</p>	<p>庁舎設計方針の中に「楽しむ」とある。新庁舎特別委員会の質問書でも「(4,500㎡というギリギリの面積の中の)機能配置の中でどこに反映されるのか?」という問いに「…設計事業者から提案を受けながら検討する」という答えだったが、町長としての考えを伺う。</p> <p>福島県で20人以上が死傷した「部活バス」の事故があったが…「部活動の移動でのレンタカーの使用は原則禁止」とはなっているが、八雲町内の小中高校の実態はどうなっているだろうか?</p> <p>公共交通機関の便数が少ない、保護者負担が大きい、等々を考えると町所有バスや車輛の「これまで以上の積極的活用」が最も有効な安全管理対策だと考えるが、如何か。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教 育 長</p>

令和8年 第2回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	赤 井 睦 美	<p>1. 子育て支援策の効果と更なる支援策は？</p> <p>2. みんなでピンチをチャンスに！</p>	<p>以前、文教厚生常任委員会でも保護者の皆さんへの聞き取りやアンケート調査を行い、公園の遊具や給食費軽減など8項目の子育て提言を行いました。その後、町として小中学校の給食費無償化や18歳までの医療費無償化、保育料軽減など、子育て支援に取り組んできました。</p> <p>これらは保護者の負担軽減を通じて、出生数の減少スピードを緩めるためでもあったと思いますが、町長は、今まで行ってきた子育て支援策の効果と課題をどのように捉えているのかお伺いします。</p> <p>また、今年度から出産祝い金の支給も行われますが、その施策がより効果を発揮するための更なる子育て支援策を、どのようにお考えなのかお伺いします。</p> <p>1市9町で構成されているクリーンおしまで火災が発生し、ごみの受け入れが不可能となり、八雲町でも仮置き場を増設しています。LINE等で私達町民にもごみの減量化を呼びかけていますが、代替焼却施設が決まるまで、事業者さんはもちろん担当課の皆さんもとても大変な状況だと思います。そこで、是非、ピンチをチャンスと捉え、これを機にごみの分別を徹底し、ごみの減量化を進めていくために、次の事をお伺いします。</p> <p>① ごみ処理には指定のごみ袋の購入を通じて、私達も一部代金を支払っていますが、残りの処理料はすべて税金で支払われています。ゴミの減量化ができると、処理料の削減はもちろん、その分を教育費等に回すことも出来ます。しかし、そうした意識の醸成には時間がかかるので、保育園、幼稚園、小学校など小さい時から段階的に伝えていくことが必要だと思いますが、町長、教育長はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>② ごみ袋が初めて有料化された時、反対の声もありましたが、分別を意識し燃やせるごみの減量化に努める姿を多く見ました。ごみの減量には町民の努力と協力が欠かせません。とても難しい問題ですが、あきらめずにいろいろな方法で積極的に声をかけて、出来るところから進めていくことは出来ないでしょうか。</p> <p>③ クリーンおしまは使用30年目以降の方針を検討するため、7年度と8年度でコンサルに依頼。そして、八雲町もこのまま継続か、単独あるいは近隣町と共同で焼却施設を建設するかどうかを、この2年で調査を依頼しているとの報告を受けています。調査結果が出るまでは、継続か単独かの決定は出来ないと思いますが、現段階で今後の焼却施設の在り方をどのようにお考えなのかお伺いします。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教 育 長</p>

令和8年 第2回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	水 野 博 美	<p>1. 域学連携を八雲町に生かすには！</p> <p>2. 八雲町の農業を維持するためには？</p>	<p>八雲町では、「域学連携」として大学との連携をしていますが、八雲地域における「上智大学」との連携の成果と課題、方向性をお伺いします。 また、農業に特化した域学連携の考え方についてお伺いします。</p> <p>「酪農発祥の地 八雲」と言われていますが、酪農の件数、農業人口も減っている今、町として今後も酪農業を維持するために、どのような政策をお考えか伺います。 また、新規就農に係るどのような施策をお考えかお伺いします。</p>	<p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長</p>

令和8年 第2回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	寺 田 広 樹	1. 中学校部活動の地域展開について	<p>国の「部活動の地域展開等推進事業」にあたり、令和8年度から13年度までの「改革実行期間」までに、土日休日は、原則全ての中学校部活動において、地域展開の実現を目指さなければなりません。これは、少子化が進み町内中学校では、1校でチームが作れなくなる状況を想定し、他校の生徒と合同でチームを作り練習や大会の参加実現に向けて改革していくことや、地域住民が指導者となって、学校部活動を地域全体で支えるように環境整備等を、この先、約6年間の間に目指していかなければなりません。</p> <p>現在、放課後の部活動指導者に学校教員が顧問になっている場合が多く、負担を感じている教員もいらっしゃると思います。こうした、教員の働き方にも関連をする「中学部活動の地域展開」について、早急に町の方針を定めて革新して頂きたい。これについて教育長の考えを伺います。</p>	教育長